別紙

令和５年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

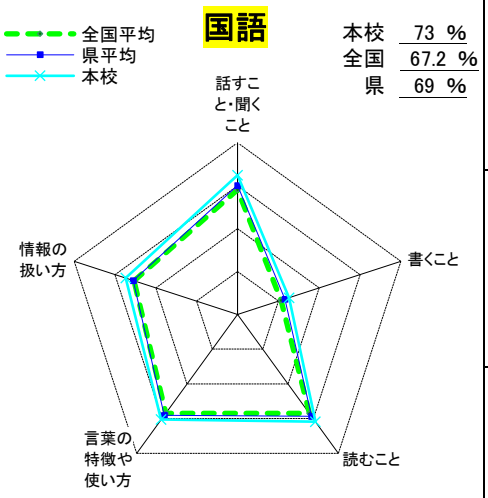
呉市立横路小学校
（横路中学校区）

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	＋６．０	＋５．０
令和８年度	－	－
令和７年度	－	－
令和６年度	－	－
令和５年度	＋５．８	＋２．５
令和４年度	＋１１．４	＋７．８

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組　　◎･･･各学校　◇･･･中学校区

国語



本校　73 %
全国　67.2 %
県　69 %

重点課題

◎図表やグラフなどを用いて，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。（設問１二）【書くこと】（平均正答率 31.5%）
◇複数の資料から情報を読み取ったり，相手意識をもって，必要な情報を取捨選択したりしながら書くことに課題がある。【書くこと】

改善の方策

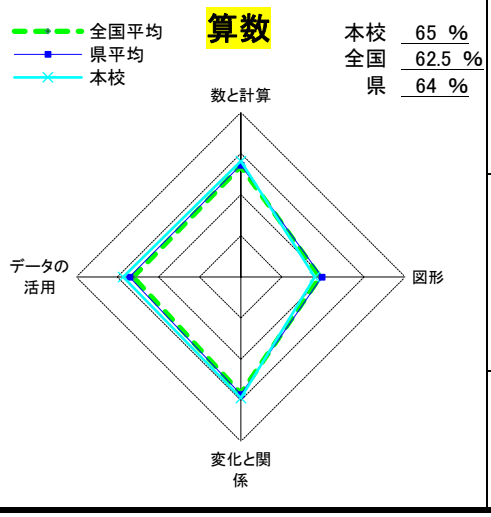
◎グラフから分かることを文章化したり，目的意識をもって必要な内容が取り入れられているかグループで練り合ったりしながら，文章を組み立てていく活動を取り入れる。
◇目的や意図に応じて，相手に伝わりやすい表現を意識しながら書く活動を設定するとともに，その文章を相互評価したり，視点を絞って見直したりする学習方法を取り入れていく。

検証

◎全国学力（設問１二）（第５・６学年，２月）目標　40%

◇標準学力調査（１～６年，12 月）目標　全国平均以上

算数



本校　65 %
全国　62.5 %
県　64 %

重点課題

◎図形を構成する要素などに着目し，基本的な図形の面積の求め方から面積の大小を判断することに課題がある。（設問２(4)）【図形】（平均正答率 11.7%）
◇問題を解くために必要な情報を取捨選択して解くことに課題がある。

改善の方策

◎角の大きさや辺の長さを図形に直接書き込ませたり，図形の底辺や高さにあたる辺を色分けさせたりすることで，図形の構成要素を視覚的に捉えながら，問題を解く習慣を身に付けさせる。
◇問題から分かることを問題文や図に書き込んだり，途中の式を省略せずに書いたりするなど，自分の考えを残す習慣を身に付けさせる。

検証

◎全国学力（設問２(4)）（第５・６学年，２月）目標　30%

◇標準学力調査（１～６年，12 月）目標　全国平均以上

【来年度に向けて】